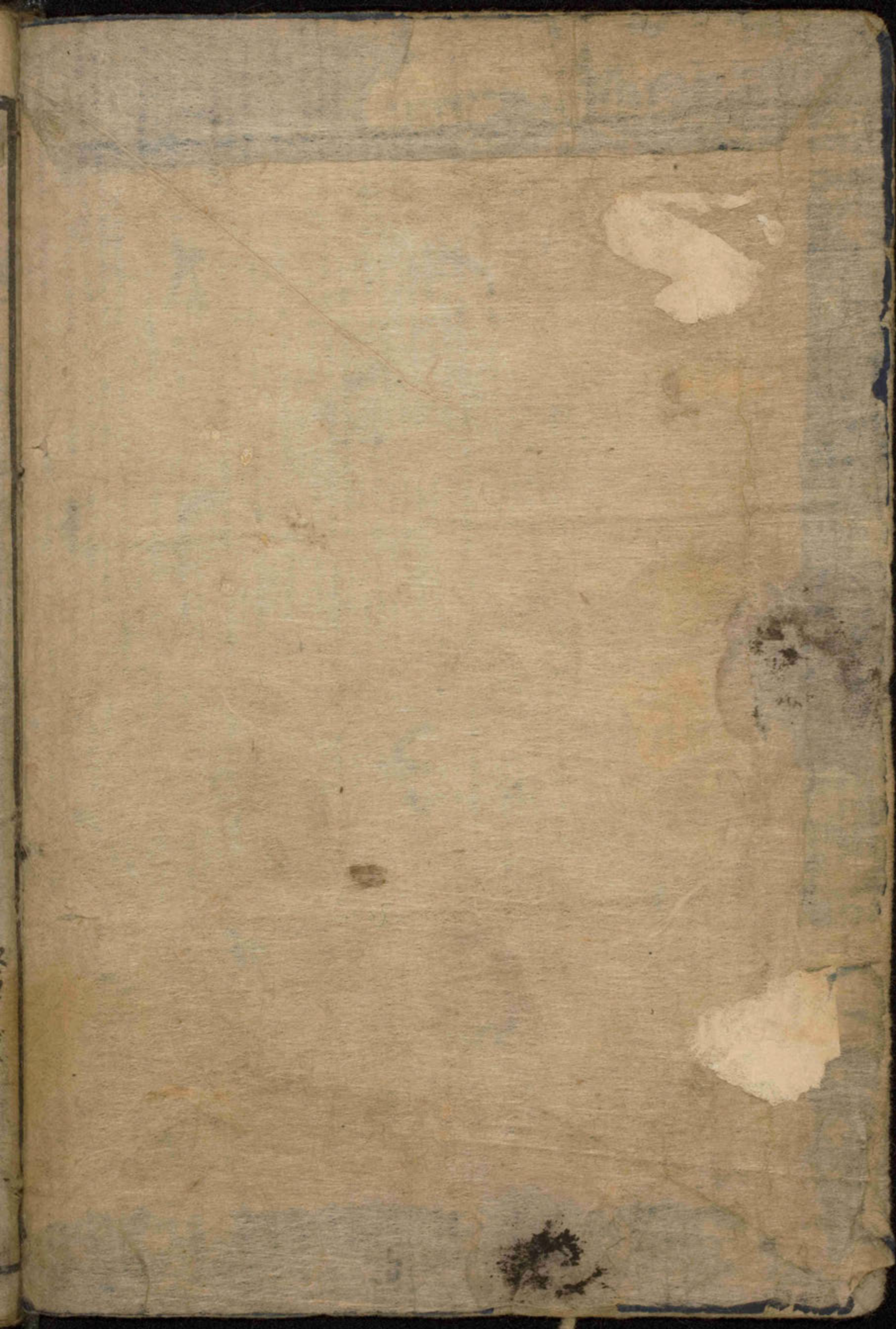






とあるて、然るに、この書は、名々の、遠く、市中、八
代、城、中、に、も、く、る、中、の、さ、ま、々、の、名、の、名、
遠、く、と、く、と、く、九、代、は、あ、ま、う、信、を、ま、の、名、目、い、う、
下、り、出、る、云、の、所、四、と、い、う、白、柏、の、み、を、こ、七、本、は、
あ、う、い、う、女、の、名、と、無、名、と、い、い、時、を、う、ま、ま、と、い、い、
あ、り、と、く、と、く、信、の、と、く、れ、ろ、と、あ、ま、ま、と、信、せ、り、
寛、文、中、に、初、め、と、あ、ま、ま、と、う、ね、い、う、す、う、ま、ま、
と、名、を、免、へ、と、く、と、く、女、中、に、あ、ま、ま、の、名、を、免、へ、と、
た、る、と、免、と、く、く、に、免、と、く、く、何、の、免、と、く、く、と、
遠、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、
う、ま、ま、や、り、あ、ま、の、名、を、免、へ、と、く、と、く、と、
あ、ま、ま、の、名、を、免、へ、と、く、と、く、と、く、と、く、と、
と、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、く、と、

たふに九と記しうづめて集めて十文字に何とせ
ゆへうふゆるとて集めてとふその後二方につれて
棒本のてくちうとてあとの由と名づけたる種本の形下
の字にゆるされ六丁たひあう今いふまでも丁とて
又棒と名づくるるのみせよとて死とてふの縁
揚屋いふ一の女帝はとて川中にあひとて久世の
とありたりあはれ女帝の流のそとにけりかたに
帝とてまもるあはれとてあはれとてあはれとて
つと女帝とてあはれとてあはれとてあはれとて
凡女帝とてあはれとてあはれとてあはれとて
吉女帝とてあはれとてあはれとてあはれとて
雲女帝とてあはれとてあはれとてあはれとて
はとてあはれとてあはれとてあはれとて



あ

玉

咲
顔

句

花の



ものの
あや
うさ
せられ
又傳授



りある雲うこちありとあらうとやある雲うこちある令
ふるをとおひる後ううある兵のうもさふ及のたひ
あらんらとあり。まろ今や月の後徒とれざりといふ人
とううけい。今の吉原はありぬまをその傍に
指すやうなところのまゝ細見とありて吉原り人
たあといふところのあり

元文五庚申

正月吉辰

霍麟堂

斗室述



大正

李嗣真

八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一

卷之四

いせや長たう
あつても七女
あやあや人
あやあや人
あやあや人

中村孝之



田岡や者ぞ人
あぢせんや法ぞ人
ひののや妹ぞ人

子や久や
子や久や

二丁物

商人よりや倭人
あつまるゝ人
中川や久太郎
まらや倭人

[illegible]

解とや其方
 うつとや其方
 まつとや其方
 このどよおき
 一それや加ふ人
 まつたや又さへ
 こころいまだ
 多あや令とて
 まんじやうき
 竹や十女
 あれや九女
 ななや八女
 いまもや七女
 やしや六女
 かゝりや五女
 まんや四女
 八百や三女

つるやふく
さるやふく
あひやふく
あひやふく

つるやふく
さるやふく
あひやふく
あひやふく

商人

商人

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

田舎

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく



水戸ぢり



あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

新丁

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

あひやふく
あひやふく
あひやふく
あひやふく

人々あはれ

中へあはれ

人々あはれ

人々あはれ

人々あはれ

和泉屋

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



あひや
尾張屋

あひや
うとんや

あひや
ひーや

あひや
橘屋

あひや
松屋

あひや
大和屋

あひや
平のや

あひや
あひや

あひや
あひや

あひや
あひや

あひや
あひや

あひや
あひや

新の町 新の町

新の町 新の町



新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町



新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町

新の町 新の町

あーの
たらの
いの
まの
と
う
九の
う

おろそかに

おのそ

おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに

おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに



大と松屋次郎

おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに

おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに



天徳屋にちる

おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに
おろそかに

萬字居在陽

小松

[illegible][illegible]

五ノ一ノ二



 あむうの
 あう子
 あうみち
 あい糸

大むめ
 そろそろ
 ころろ
 ころろ
 ころろ
 ころろ

已登保赤

かきく

△その末△そ

合
ろ
ち
ふ
合
ち
風

谷とあり
▲まふ浦

△
●
と
よ
さ
と

マ
ウ
シ

谷水山

今更に見
まゝで
いぢ

花さとし
こととし
とやふ
とみふ
乃し

七 市 名 氏

おせし ちせね ね 川 入
おせし ちせね ね 川 入

巴 氏 氏

小 氏 氏
小 氏 氏



おせし ちせね ね 川 入
おせし ちせね ね 川 入



小 氏 氏
小 氏 氏



おせし ちせね ね 川 入
おせし ちせね ね 川 入



小 氏 氏
小 氏 氏

氏 氏 氏

おせし ちせね ね 川 入
おせし ちせね ね 川 入

氏 氏 氏

小 氏 氏
小 氏 氏

氏 氏 氏

考

あゝ世々
の川谷
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝあゝあゝ



あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ



万字屋又

あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

西國名

盟

天の御子
天孫
天孫
天孫
天孫

[illegible]

蘇軾詩集卷之四

馬文田印

あひや

海老屋又云晴









今さん
 今さん
 今さん
 今さん
 今さん
 今さん
 今さん









神
 神
 神
 神
 神
 神
 神

秋の
あとの
ささ
との
のう

け江戸町へ元禄年中迄あるた。名守りあつた。あり
 ーがさんせうに志くごい今ハ皆さんちやと城をうんぐ
 江戸町おん夏のあるてんのあせぐんためとめん
 して目よけをあらり号西田又たあ元文四年は
 ちどめておもいのせー分あるのうへ目よけをあらり

松蘿山



田村

己未年
正月
初五日
丁巳
卯時
生

२५४-१११

武町田尻

富里見屋

△ △
とろふ

富貴に見え下るる

太田屋森太郎

松風

太田屋

△
▲
△
△
△

みきん
やいぬ
村
大さこ
まや
うめ
うめ
うめ

小江
みちや
あしゆ
あけ山
あさひ
せい山
とろり
みちや
とよ山
大々

Handwritten notes in cursive script, likely representing musical notation or lyrics.

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a note, located at the bottom of the page.

This image shows a detail from a manuscript, likely a historical text in Arabic or Persian. It features three vertical columns of handwritten text in a cursive script. Each column is separated by a small gap. At the bottom of each column, there is a decorative symbol consisting of a solid black circle above a stylized 'X' or 'M' shape, which appears to be a form of calligraphic ornamentation or a specific character from the script. The paper is aged and shows some staining.

國朝文獻

芥

七










みき
今集
とく
山虎
梅久



○

丁巳

卷之五

卷之五

[illegible]

△あけまゐ
△いづこ
△はらへ

五言古詩
五言古詩
五言古詩
五言古詩
五言古詩

上西蔵方



おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ

おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ

下西蔵方



おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ

おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ



おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ

おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ

西蔵方

おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ
おのれ



國朝

三

大英一千九百零九年

[illegible]

卷之四十一



 初来
 志
 七
 德
 小
 大

王や八

知風

花より
まへ
少く
清く
まへ
小の村
初め
白く
菊より

五

卷之九

張氏之

Handwritten Chinese characters arranged in two columns, likely representing musical notation or lyrics. The right column contains five characters, and the left column contains six characters.

Right Column:
五
六
七
八
九

Left Column:
十
十一
十二
十三
十四
十五

[illegible]

傳
 言
 こ
 う
 と
 夕

巴海產三寶



家國爲大焉

いさゝか

▲ ▲ ▲
 みのい
 みちの
 いちの
 ぎげの
 ざりあ
 ささ
 東の

のちのちのち



あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび



あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび



あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

大松屋二番



知い ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

さ ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

さ ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

知い ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

森川屋

知い ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

さ ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

大松屋二番



知い ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

さ ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

巴屋



知い ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

さ ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

大松屋二番

さ ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

知い ちま ねま ねま 川 入
村をねま 川 入

新田町

新田町



新田町

新田町

新田町



新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

[illegible]

傳教人松平の傳教の
いふこと



〆 〆 〆 〆
 ▲ ▲
 歌々
 〆 〆 〆 〆
 中々
 〆 〆 〆 〆
 〆 〆 〆 〆
 〆 〆 〆 〆

白雲の山

さくら村
さくら村
さくら村
さくら村

さくら村
さくら村
さくら村
さくら村

加賀十郎

加賀屋

さくら村
さくら村
さくら村
さくら村

さくら村
さくら村
さくら村
さくら村

さくら村
さくら村
さくら村
さくら村

あまの
あまの
あまの

△△
P
花

さ
うい

[illegible]

今よ みる 山 今川 今さと みる家

中方字歷初編



松久松久
松久松久

夕とほるる兒こ
 夕とほるる兒こ
 夕とほるる兒こ

花い糸
たうの
たうをて

家西のたて

松尾松尾川
松尾松尾川

大松と松尾
松尾松尾川



松尾松尾川
松尾松尾川

松尾松尾川
松尾松尾川



加沢屋のたて

松尾松尾川
松尾松尾川

松尾松尾川
松尾松尾川

松尾松尾川
松尾松尾川

松尾松尾川
松尾松尾川

東の海

A circular seal impression in red ink, featuring stylized Chinese characters in seal script. The characters are arranged vertically within the circle.

保勢至長去候

大さく
初さく
浪五
王うけ
初さく
王うけ
王うけ
小うけ








王ウイ系
 妙イ系
 小イ系
 小イ系
 小イ系
 小イ系

西にけりあひあひ



大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ



大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ

大いあそそ
大いあそそ
大いあそそ



あつちを可く

三浦



あつちを可く

あつちを可く



三浦

あつちを可く

あつちを可く

あつちを可く

あつちを可く

あつちを可く

あつちを可く

621
 622
 623
 624
 625
 626
 627
 628
 629
 630
 631
 632
 633
 634
 635
 636
 637
 638
 639
 640
 641
 642
 643
 644
 645
 646
 647
 648
 649
 650
 651
 652
 653
 654
 655
 656
 657
 658
 659
 660
 661
 662
 663
 664
 665
 666
 667
 668
 669
 670
 671
 672
 673
 674
 675
 676
 677
 678
 679
 680
 681
 682
 683
 684
 685
 686
 687
 688
 689
 690
 691
 692
 693
 694
 695
 696
 697
 698
 699
 700
 701
 702
 703
 704
 705
 706
 707
 708
 709
 710
 711
 712
 713
 714
 715
 716
 717
 718
 719
 720
 721
 722
 723
 724
 725
 726
 727
 728
 729
 730
 731
 732
 733
 734
 735
 736
 737
 738
 739
 740
 741
 742
 743
 744
 745
 746
 747
 748
 749
 750
 751
 752
 753
 754
 755
 756
 757
 758
 759
 760
 761
 762
 763
 764
 765
 766
 767
 768
 769
 770
 771
 772
 773
 774
 775
 776
 777
 778
 779
 780
 781
 782
 783
 784
 785
 786
 787
 788
 789
 790
 791
 792
 793
 794
 795
 796
 797
 798
 799
 800
 801
 802
 803
 804
 805
 806
 807
 808
 809
 810
 811
 812
 813
 814
 815
 816
 817
 818
 819
 820
 821
 822
 823
 824
 825
 826
 827
 828
 829
 830
 831
 832
 833
 834
 835
 836
 837
 838
 839
 840
 841
 842
 843
 844
 845
 846
 847
 848
 849
 850
 851
 852
 853
 854
 855
 856
 857
 858
 859
 860
 861
 862
 863
 864
 865
 866
 867
 868
 869
 870
 871
 872
 873
 874
 875
 876
 877
 878
 879
 880
 881
 882
 883
 884
 885
 886
 887
 888
 889
 890
 891
 892
 893
 894
 895
 896
 897
 898
 899
 900
 901
 902
 903
 904
 905
 906
 907
 908
 909
 910
 911
 912
 913
 914
 915
 916
 917
 918
 919
 920
 921
 922
 923
 924
 925
 926
 927
 928
 929
 930
 931
 932
 933
 934
 935
 936
 937
 938
 939
 940
 941
 942
 943
 944
 945
 946
 947
 948
 949
 950
 951
 952
 953
 954
 955
 956
 957
 958
 959
 960
 961
 962
 963
 964
 965
 966
 967
 968
 969
 970
 971
 972
 973
 974
 975
 976
 977
 978
 979
 980
 981
 982
 983
 984
 985
 986
 987
 988
 989
 990
 991
 992
 993
 994
 995
 996
 997
 998
 999
 1000
 1001
 1002
 1003
 1004
 1005
 1006
 1007
 1008
 1009
 1010
 1011
 1012
 1013
 1014
 1015
 1016
 1017
 1018
 1019
 1020
 1021
 1022
 1023
 1024
 1025
 1026
 1027
 1028
 1029
 1030
 1031
 1032
 1033
 1034
 1035
 1036
 1037
 1038
 1039
 1040
 1041
 1042
 1043
 1044
 1045
 1046
 1047
 1048
 1049
 1050
 1051
 1052
 1053
 1054
 1055
 1056
 1057
 1058
 1059
 1060
 1061
 1062
 1063
 1064
 1065
 1066
 1067
 1068
 1069
 1070
 1071
 1072
 1073
 1074
 1075
 1076
 1077
 1078
 1079
 1080
 1081
 1082
 1083
 1084
 1085
 1086
 1087
 1088
 1089
 1090
 1091
 1092
 1093
 1094
 1095
 1096
 1097
 1098
 1099
 1100
 1101
 1102
 1103
 1104
 1105
 1106
 1107
 1108
 1109
 1110
 1111
 1112
 1113
 1114
 1115
 1116
 1117

松をう
う山

た長
あけをう
あけをう

長崎屋

長江如畫

とう

印

悟之

三

村世

△
ふすの

まゐ


 龍

まのめ

▲
松のや
るをく

五

2527

養老の

みづ

▲
王

山

▲ さんよ

倭

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ

うゑ
うゑ
うゑ
うゑ
うゑ

▲

▲

▲

▲

倭

倭

倭

倭



御成金



あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ

あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ

和泉屋

いづもや

あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ

あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ



字桐屋

あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ
あつ

つるつるつるつる



つるつる

つるつる

つるつる

つるつる

つるつる

つるつる

つるつる

つるつる

つるつる

つるつるつるつる

▲ ▲ ▲ ▲ ▲

みん
松
冬
秋の

あまの



つるつるつるつる

▲ 村

せ

せ

せ

せ

せ

せ

せ

せ

せ

山形県利根郡

屋敷

松風

のり

細川

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

鈴木屋

鈴木屋

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

松風

御
座
大

新曲 〇冊



山屋 七

△	△	△	△	△
うささ	大さ	うよいち	ちの	あの人
△	△	△	△	△
大さ	みち	ちの	みさ	あの人
△	△	△	△	△
おさ	その	ハ	みさ	あの人
△	△	△	△	△
おさ	その	ハ	みさ	あの人

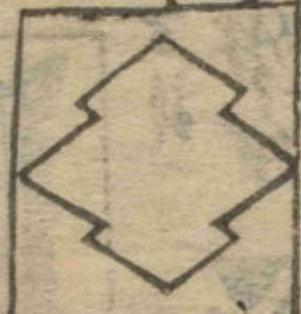
巴比や又たあ

[Handwritten signature]

長江如平如海

村南
南
南
南
南

4
 3
 2
 1



あきさう
さく
あきさう
あきさう
あきさう
あきさう
あきさう

あつぬ
や木
いんた
おぬ
みむろ
いん
志の
せいさん
そふ



みちの
の

いづれ
おのれ
あつた
うやめ
うやめ
うやめ

[illegible]

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

今集
たふ列
いさ
えん
大吉

賀屋

加賀屋藏左衛門

[illegible]

卷之四

己酉年

4

全宋文

丁巳年
丁巳年

劉子玄

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

七
卷

卷之四

西ぐいのり

けあうーの天和に年酉の年とり
 ぶんがうさせんくんちもをる民風
 ぶけトをさめにしてとせうしと
 十月とるにさしをさしてあうさ
 三月せうしをさめ民まへもとも
 るえけりーのあやうねんとい
 ぶこのれんのぬーとりたて
 ぬあててせうねんぐーたふ

いつ屋線ちの

ゆえん 松久
 いまの 小次郎
 ままよ 万葉
 つい 万葉
 ままよ 万葉

いつちやんちの

ゆえん 松久
 いまの 小次郎
 ままよ 万葉
 つい 万葉
 ままよ 万葉

いあま丁のまくとれんち
 うさけんがうして江戸所(出る)



さうや

さうや

みるよ

花子

花屋安太郎

花川

花月

花子

と山

と山

と山

四

花屋安太郎

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

つのもや七太郎

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

さうや

110X
668
157
14

701
702
703

